ルームエアコン
取 扱 説 明 書

STREAMER

機種名（総称名）
S22NTES-W(C)
S25NTES-W(C)

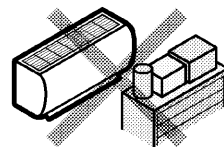
● このたびはルームエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
● この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。 ▶4, 5ページ
お読みになった後はいつでもご覧になれるよう、お手元に保管してください。
● 保証書は必ずお買い上げ日、販売店名などの記入を確かめて、大切に保管してください。

上手にご使用いただくために

エアフィルターはいつもキレイに

●エアフィルターが汚れていると、能力が低下します。定期的にエアフィルターのお手入れをしてください。
▶12ページ

吹出口付近に大きな家具を置かない

●エアコンが室内温度を誤認識し冷えない、暖まらない原因になります。

温度設定は適切に

●適切な温度設定は節電につながります。

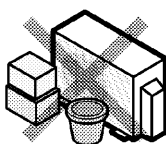
<おすすめ設定温度>
冷房時…26℃～28℃
暖房時…20℃～22℃

消し忘れ防止にタイマー運転を

●エアコンの消し忘れは電気代のムダになります。タイマーを活用して、必要な時間だけ運転しましょう。
▶9, 11ページ

●エアコンは運転しないときでも、電力を消費します。▶21ページ
シーズンオフなど、長期間使用しないときは電源プラグを抜くかブレーカーを切ってください。

室外ユニットのまわりに物を置かない

●吹出口を物でふさぐと能力が低下し、電気代のムダになります。

窓にはブラインドやカーテンを

●直射日光やすきま風を防ぎ、冷房・暖房効果を高めます。

光速ストリーマで空気も、エアコン内部もキレイに

STREAMER

●フィルターに捕獲したカビやアレル物質を光速ストリーマで強力に分解し、お部屋にキレイな空気をお届けします。

●エアコン内部にも光速ストリーマを照射し、内部のカビやニオイの原因菌を抑制。吹き出す気流を清潔にします。

プラズマ放電の一種である「ストリーマ放電」は細菌、カビはもちろん、有害化学物質・アレル物質なども抑制する酸化分解力を持った活性種を生成します。

測定方式：除菌効果試験
試験機関：(財)日本食品分析センター
試験結果：99.9%除去

運転中にストリーマ放電の「シュー」という音がしますが異常ではありません。
また、ご使用環境により、音が小さくなったり、音質が変わることがありますが、異常ではありません。
ストリーマ放電により微量のオゾンが発生するため、吹出口からニオイがすることがありますが、ごくわずかであり、健康に支障はありません。

もくじ

必ずお守りください

安全上のご注意

この取扱説明書および商品には、安全にご使用いただくために、いろいろな表示をしています。
内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■「表示」を無視して、誤った取扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。

⚠ **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。	⚠ **注意** 「けがや財産に損害を受けるおそれがある内容」を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、「図記号」で区分して説明しています。

「してはいけないこと」を表しています。	「しなければならないこと」を表しています。

火災や感電、
大けがを防ぐために
お守りください。

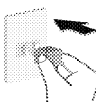
⚠ 警告

電源プラグやコードは

禁止

- **■ 運転中に電源プラグを抜かない。※**
  (感電や放電による火災の原因)
- **■ 電源コードを持って抜かない。※**
  (断線による発熱や発火の原因)
- **■ ぬれた手で電源プラグの抜き差しや操作はしない。※**
  (感電の原因)
- **■ 途中で接続したり、延長コードの使用、タコ足配線をしない。**
  (感電や発熱、火災の原因)
- **■ 破損させたり、加工したり、傷んだまま、束ねたままでの使用はしない。**
  (感電や火災の原因)

必ず実施

- **■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む。※**
  (接触不良による感電や火災の原因)
- **■ 定期的に電源プラグのホコリを乾いた布でふき取る。※**
  (湿気などで絶縁不良となり、発熱や発火、火災の原因)

※電源プラグの有る機種の場合

異常・故障時には直ちに使用を中止する

必ず実施

異常・故障例
- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源プラグが変色している。
- こげ臭いニオイがする。
- ブレーカーがひんぱんに落ちる。
- 室内ユニットから水が漏れる。

(異常のまま運転を続けると故障や感電、発煙、火災などの原因)
すぐに運転を停止し、電源プラグを抜くか、ブレーカーを切ってお買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。▶22ページ

お手入れ時は

禁止

- **■ お客様自身で、工具を使った分解掃除や、改造、内部の洗浄はしない。**
  (水漏れや破損、故障、発煙、発火の原因)

ご使用時は

禁止

- **■ 吸込口や吹出口に指や棒などを入れない。**
  (けがの原因)
- **■ 長時間冷風を体に直接あてない、冷やし過ぎない。**
  (体調を崩す原因)
  特にお子様や高齢者にはご注意ください。
- **■ 可燃性のもの(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない。**
  (感電や引火の原因)
- **■ 腐食性ガスや金属製のホコリのある場所では使用しない。**
  (引火や本体への吸引による発火や発煙の原因)

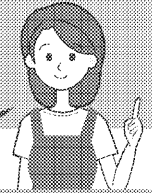
据付け・移設・修理時は

禁止

- **■ 室外ユニットに表示の冷媒(R410A)以外は使用しない。**
  (故障や破裂、けがなどの原因)

必ず実施

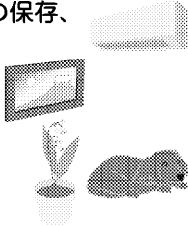
- **■ エアコンの据付けや移動、修理、再設置は必ずお買い上げの販売店または専門業者に依頼する。**
  (感電や火災などの原因)
- **■ アースや漏電しゃ断器が設置されていることを確認する。**
  (感電や火災などの原因)
- **■ 必ずエアコン専用の電源コンセントを使う。**
  (他の機器と併用すると、発熱による火災の原因)
- **■ 冷えない、暖まらない場合は、冷媒漏れが原因の一つと考えられるので、お買い上げの販売店に相談する。**
  冷媒追加を伴う修理の場合は、冷媒漏れがないことをサービスマンに確認してください。
  (冷媒は安全で、通常は漏れませんが、万一室内に漏れ、ファンヒーターやコンロなどの火気に触れると、有害な生成物発生の原因となります)
- **■ 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に設置されていないか確認する。**
  (万一ガスが漏れると、発火の原因)
- **■ ドレンホースが確実に排水するように配管されているか確認する。**
  (不確実な場合、家財などをぬらす原因)

ST008

⚠注意

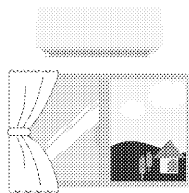
室内ユニットは

禁止

■ **動植物に直接風をあてない。**
（動植物に悪影響を及ぼす原因）

■ **精密機器や食品・美術品の保存、動植物の飼育や栽培などに使わない。**
（品質低下などの原因）

■ **ユニットの下に、他の電気製品や家財などを置かない。**
（水滴が落ちて、汚損や故障の原因）

必ず実施

■ **燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気する。**
（酸素不足による頭痛などの原因）

■ **燃焼器具は、風が直接あたらない場所で使用する。**
（不完全燃焼の原因）

■ **乳幼児の手の届くところにリモコンを置かない。**
（誤操作による体調悪化や電池誤飲の原因）

長期間使用しないときは

必ず実施

■ **電源プラグを抜く。**※
（ホコリがたまると、発熱や発火の原因）

※電源プラグの有る機種の場合

お手入れ時は

禁止

■ **不安定な台に乗らない。**
（転倒など、けがの原因）

■ **室内ユニットのアルミ部分に触らない。**
（手を切る原因）

■ **エアコンを水洗いしたり、花瓶など水の入った容器を載せたりしない。**
（感電や発火の原因）

必ず実施

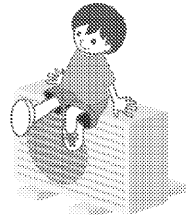
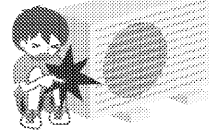
■ **必ず運転を停止し、電源プラグを抜くか、ブレーカーを切る。**
（ファンが高速回転しているため、けがの原因）

室外ユニットは

禁止

■ **ユニットのアルミ部分に触らない。**
（手を切る原因）

■ **ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない。**
（ベランダなどの高い場所に設置の場合、転落の原因）

■ **据付台が破損したまま、放置しない。**
（落下につながり、けがなどの原因）

必ず実施

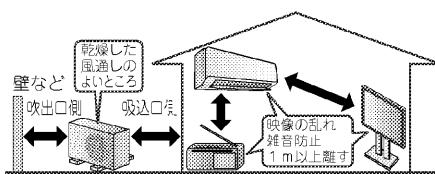
■ **室外ユニットの周辺に、物を置いたり、落ち葉がたまらないようにする。**
（虫などが侵入し、故障や発火、発煙の原因）

ストリーマ放電について

- 微量のオゾンが発生するため、吹出口からニオイがすることがありますが、ごくわずかであり、健康に支障はありません。

室内・室外ユニット周辺の確認

■ 下図の距離をあけないと、エアコンの能力が低下したり、テレビやラジオに雑音が入るおそれがあります。

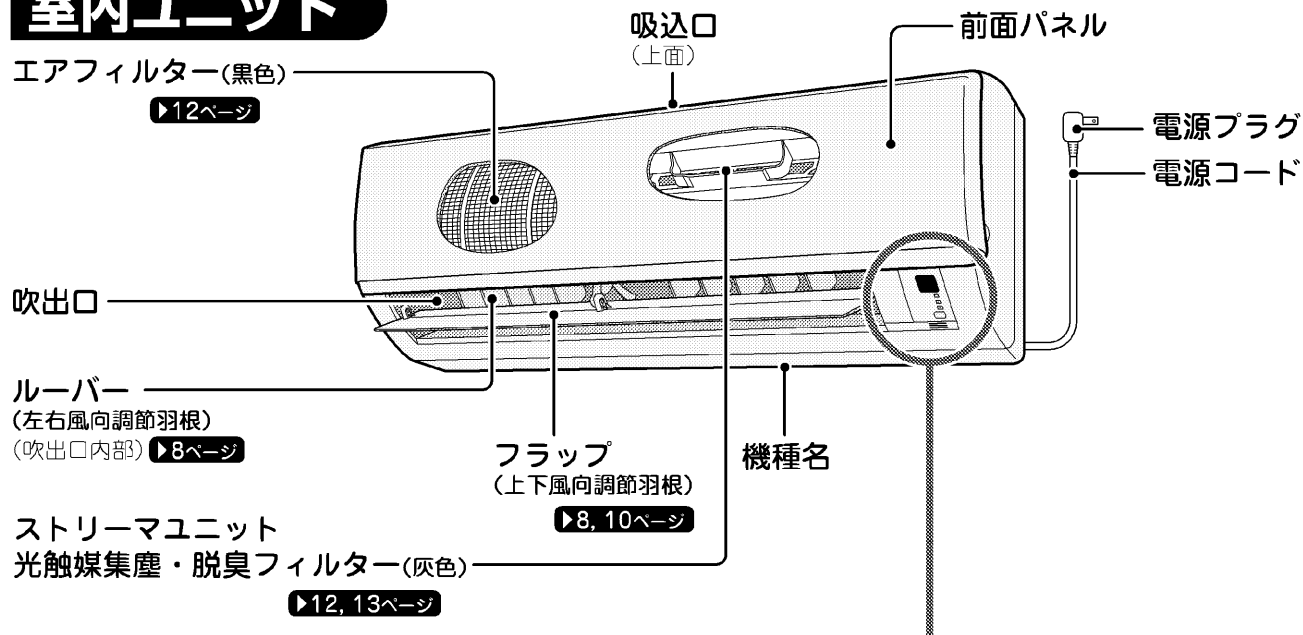
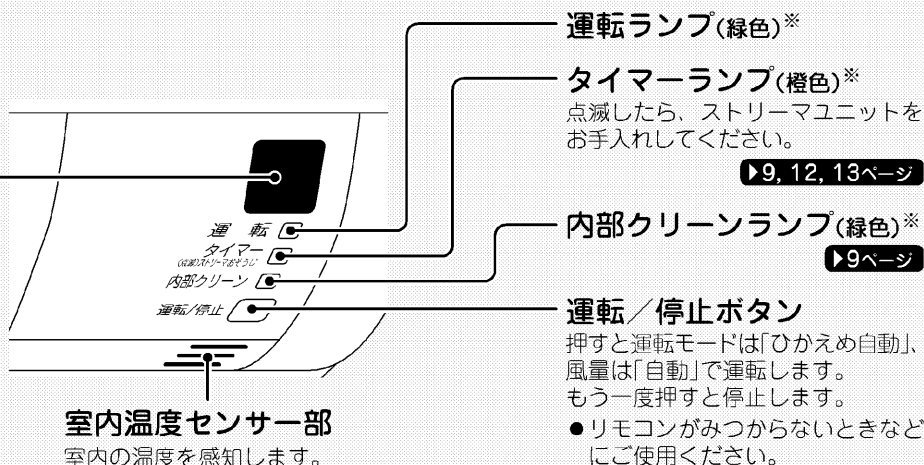
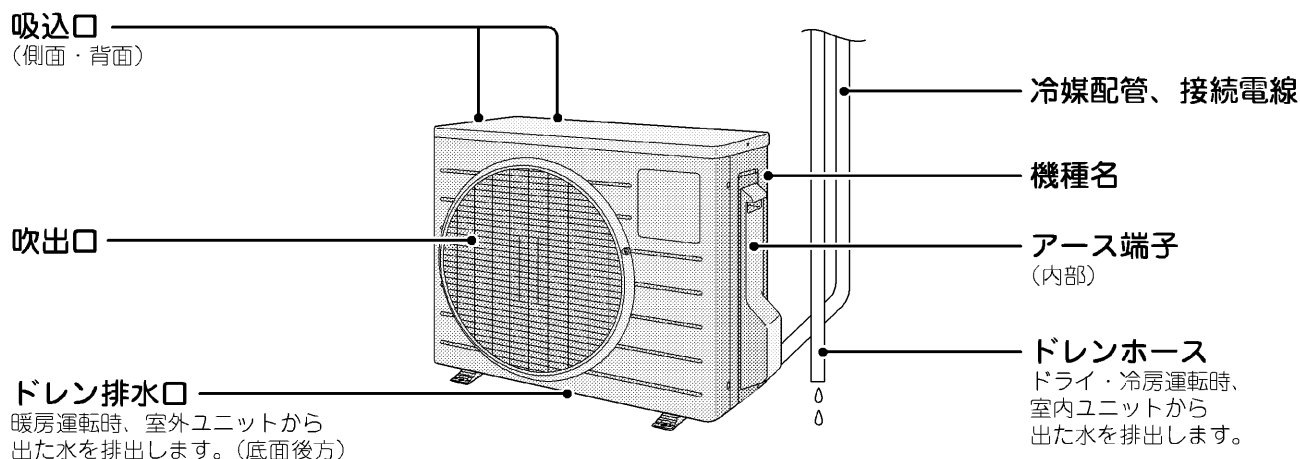
- 設置場所に余裕があれば、効率の良い運転のために、できるだけ広い寸法をお取りください。

■ 火災警報器と室内ユニットの吹出口は1.5m以上の距離をあけてください。

■ 加湿器などを近くでご使用になるときはご注意ください。
加湿の種類によっては水道水に含まれるカルシウムやマグネシウムなどの化合物が水と一緒に放出される場合があり、蒸発すると白い粉になります。
このような水分がエアコン内部に入ると汚れの原因になります。

■ 調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属製のホコリのある場所でのご使用は避けてください。

■ 床面などにワックスを塗布するときは、運転をしないでください。（エアコン内部にワックスの成分が付着し、水漏れの原因となります。）ワックス塗布後は十分換気を行ってから運転してください。

各部の名前と働き

室内ユニット

室外ユニット

運転前の準備

室内ユニット

■ **光触媒集塵・脱臭フィルターをストリーマユニットに取り付ける。** ▶12, 13ページ

■ **電源プラグをコンセントに差し込む。**

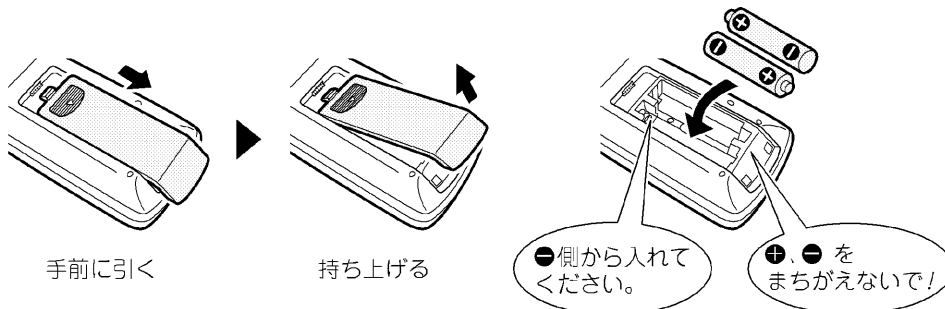
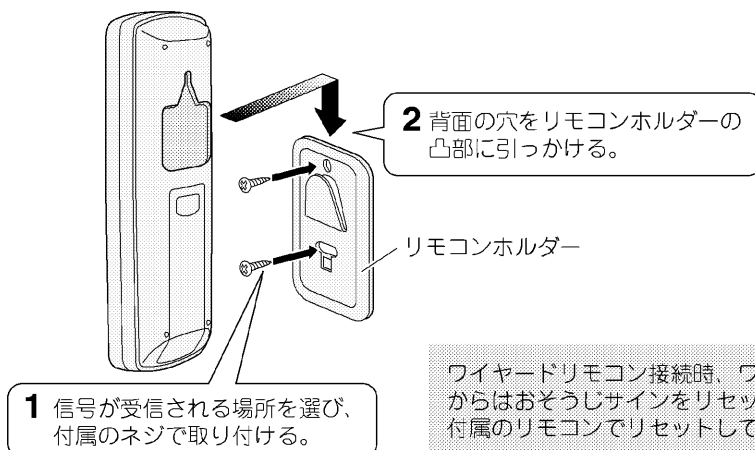
- 電源プラグをコンセントに差し込むと、フラップが一度開き、また閉じます。（故障ではありません）

リモコン

電池を入れる

1 電池カバーの マークを指で軽く押さえ、手前に引いて持ち上げる。

2 単4形アルカリ乾電池を2本入れ、電池カバーを閉める。

- 単４形アルカリ乾電池以外をご使用になると正常に動作しない場合があります。
- 傷付き防止のためリモコン表示部に保護シートを貼っています。使用時はシートをはがしてください。

■ **壁などに取り付ける場合**

ワイヤードリモコン接続時、ワイヤードリモコンからはおそうじサインをリセットできません。付属のリモコンでリセットしてください。

リモコンについて

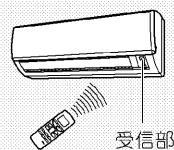
- 落としたり水にぬれないようにしてください。（液晶部が破損することがあります。）

電池について

- 交換の目安は約1年ですが、リモコンの表示部が薄くなり受信されにくくなりましたら、２本同時に新しい単４形アルカリ乾電池と交換してください。
- 付属の乾電池は、最初にご使用いただくために用意しているもので、１年に満たないうちに消耗することがあります。

運転のしかた

送信部

- 送信部を室内ユニットの受信部に向けてください。
- 送信できる距離は約7mです。カーテンなど信号をさえぎるものがあると作動しないことがあります。

表示部

運転状態を表示します。(図は説明のため全部表示しています。)

1 運転する

ひかえめ自動 **最適な温度と運転モードを自動で選んで運転します。**

[ひかえめ自動] を押す。

運転/停止 **前回の運転モードで運転します。**

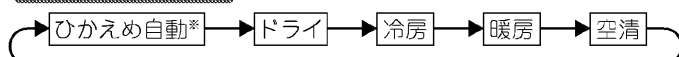
[運転/停止] を押す。

- もう一度押すと停止します。

運転切換 **運転モードを切り換えます。**

[運転切換] を押す。

- 押すごとに運転モードが切り換わります。

ひかえめ自動※ → ドライ → 冷房 → 暖房 → 空清

※リモコン表示は「自動」です。

2 温度・風量・風向を調節する

温度 **お好みの温度にします。**

[温度] を押す。

- 押すごとに設定温度が切り換わります。

風量 **お好みの風量にします。**

[風量] を押す。

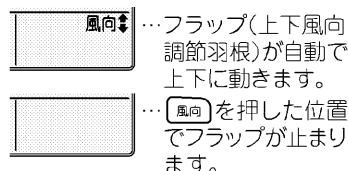
- 押すごとに風量(自動・しずか・1～5)が切り換わります。

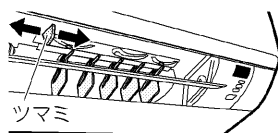
風向

◆上下の風向を変えたいとき

運転中に [風向] を押す。

風向⇕ …フラップ(上下風向調節羽根)が自動で上下に動きます。

…[風向]を押した位置でフラップが止まります。

◆左右の風向を変えたいとき

ルーバー(左右風向調節羽根)のツマミを持って左右に動かします。ツマミは左右1ヵ所ずつあります。

風ないス **風向と風量を調整して、風を直接体にあたりにくくします。**

運転中に [風ないス] を押す。

- フラップの向き
  【ドライ・冷房】上向き　【暖房】下向き
- 風量は自動になります。
- 空気清浄運転以外のときに設定できます。

操作取消：[風ないス] をもう一度押す。

サインリセット

タイマーランプが点滅したら

ストリーマユニットをお手入れし、[サインリセット]を押す。

▶12, 13ページ

- タイマーランプの点滅が終了します。
- 他のボタンとは形状が異なるため、先の細い物で押してください。

3 電力消費を抑える

パワーセレクト 初期設定：「切」

運転時の最大電流を制限して、電力消費を抑えます。

[入] を**約2秒間押す。**

- 「ピーッ、ピーッ」と音が鳴り、表示ランプが暗くなります。

設定取消：[切] を約2秒間押す。
「ピピー」と音が鳴り、表示ランプが明るくなります。